

常磐高等学校 平成29年度 学校重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ 実施段階)

学 校 運 営 計 画				評価(3月)
学校運営方針	知育、徳育、体育の三位一体を基盤として、至誠の心を育み、自由清新な気風で、心豊かな行動力のある社会有為の人材を養成する。			
昨年度の成果と課題	本 年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標		
国公立大学等の進学実績が向上し、部活動や生徒会活動の活性化が見られた。授業満足度指数が向上し、生徒問題行動件数も減少したが、携帯電話やスマートフォンの不正使用が著しかった。また、情報処理検定協会特別会長賞を初めて受賞した。生徒が意欲的に授業へ参加するように授業改善を推進し、各種検定試験上級合格者数を増加させる。また、教職員の率先垂範による挨拶、時間厳守、清掃、整理整頓の徹底を図り規範意識を高める。	生徒の主體的な活動を促進し、心豊かで思いやりのある人間性を育てる。	教師の率先垂範による挨拶・時間厳守・整理整頓・清掃等の徹底を図り、規範意識を向上させる。 教育活動全般で生徒が自主的に取り組む意欲や仲間意識、コミュニケーション能力等を育てる。		
	生徒が意欲的・自主的に学習に取り組む姿勢を伸ばし、学力を向上させる。	生徒の自己教育力を育成するため、学習習慣の定着に向けた指導の充実を図る。 アクティブラーニング等の学習指導法を研究し、生徒の能動的学習態度を育成する。		
	生徒の特性や能力を伸ばし、個性に応じた適切な進路指導を展開する。	教職員の組織力を活用し、進路実現に向けた積極的な個別指導を実践する。 効果的な進路指導を実践するために、各種進路情報を共有化してデータの有効活用を図る。		
	自他の安全を確保する指導を充実し、心身ともに健全な生徒を育てる。	教育活動全般を通じて、発達段階に応じた道徳教育・人権教育を推進する。 学校行事・ホームルーム活動・部活動において、健康管理や安全に関する指導を徹底する。		
	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評価(3月)	次年度の主な課題
学習指導	教科指導力の向上	・生徒による「授業評価」(授業アンケート)の結果を分析し、改善点を見出し、より良い授業を創造する。 ・定期的な生活アンケート調査結果により、さらに授業改善を図り、生徒の「授業満足度」100%を目指す。		
	学習意欲の向上	・「ICT」活用教育や「アクティブラーニング」形式による授業を研究・導入し、生徒の積極的な授業参加を促す。 ・生活アンケートにおいて「家庭学習時間 1時間未満」生徒を減少させ、学習習慣改善に繋げる。		
進路指導	進路学習の充実	・進路指導のしおり「進路マニュアル」の内容がさらに充実するように努め、各学年に応じた有効活用を図る。 ・各種資格、検定のさらに上級を取得させ、情報処理検定においては「協会会長賞」受賞数で全国1位を目指す。		
	希望進路の実現	・「進路説明会」の実施により、生徒と保護者に入試システム等の情報を提供し、受験に対する意識向上を図る。 ・各学年で定期的に模擬試験等の「結果分析会」や「進路検討会」を実施し、国公立大学30人以上合格させる。		
生徒指導	規範意識の向上	・教師の率先垂範による凡事徹底を図り、「礼節」を重んじて「思いやり」のある明るい学校生活の実現を目指す。 ・マナー向上のために「交通安全教育」の充実を図り、諸機関と連携して非行防止や防犯教育を計画的に実施する。		
	生徒会活動の活性化	・部活動を充実させ「加入率70%」以上を目指すとともに、心の指導を充実させ愛校心発揚の核となる生徒を育てる。 ・生徒会活動を活性化し、学校行事等の企画・運営を精力的に取り組ませ、「自主・創造の精神」を育成する。		
その他	道徳教育・人権教育の充実	・「積極的な生徒観察」により生徒理解を深め、強い信頼関係を築き、いじめやつまずきへの早期対応に努める。 ・「サポート委員会」と「スクールカウンセリング」の連携をより充実させ、進路変更生徒の減少に努める。		
	広報活動の充実	・「広報部」と「部活顧問」の連携強化を図り、迅速にホームページを更新して魅力的な内容で閲覧を促進させる。 ・進学実績を向上させるとともに部活動を活性化させて、「推薦入試受験生100名」を目指す。		